

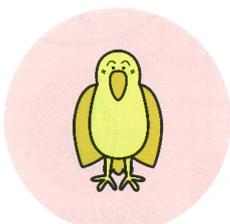


# 公益社団法人 鳥取県人権文化センター

「身近なもの」  
から考える人権

## その「<sup>マ</sup>ス<sup>ク</sup>「**当たり前**」

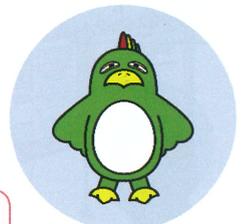
誰かを追いつめていませんか？



とり助

昨年暮れに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が確認されて以降、感染予防としてマスクは身近なものになったね。上の図をみると、この1年、マスクを巡って様々な出来事があったこと、またそれらが様々な人や事柄に影響を与えていたことに気づかされるなあ。

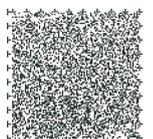
そうだね。ところで、左下にマスクで隠れている言葉があるよ。マスクの下にはどんな言葉が隠れているか、次のページで外してみよう。



ふらっちょー

### Uni-Voice

文字情報を音声で読み上げるための「音声コード」です。お持ちのスマートフォンに、音声コードリーダーアプリ「Uni-Voice」（iOS／Android版）、又は「Uni-Voice Blind」（iOS版のみ）をインストールしてご利用ください。





## 着けることが 難しい人への 無理解



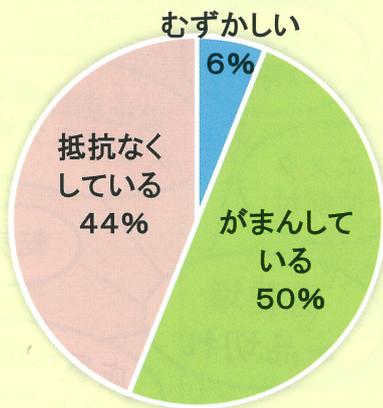
隠れていたのは、「(マスクを) 着けることが難しい人」  
だったんだね。  
たとえば、どんな人たちだろう。



たとえば、発達障がいに伴う感覚過敏の症状がある人や、皮膚の病気、呼吸器の疾患等がある人の中には、マスクを着けると肌にかゆみや痛みが生じたり、気分が悪くなったり、顔が腫れたり、息苦しくなったりする等、着けたくても着けられない事情のある人がいます。

### 参考：発達障がいのある人にとってのマスク

### Q：マスクの着用はできていますか？



「マスクをすることがむずかしい」 →→→→ 6%

「がまんして、マスクをしている」 →→→→ 50%

#### 【理由（一部）】 \* 触覚等の過敏による困難が多い

- 感覚過敏で、マスクが肌に触れることが不快
- マスク自体のにおいや、マスクの中の臭いが不快
- マスクをしていると、集中できず、判断力が下がる など

\* 国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部 発達障害情報・支援センター  
「新型コロナウイルス感染症の影響についてのアンケート」【結果報告（速報）】  
2020年9月10日一部修正、全国及び海外10～60代以上、352人回答



マスクの着用自体が辛い人もいるんだね。その事情が理解されずに「わがままだ」と非難されたり、厳しい視線を向けられたりすると、社会参加が難しくなってしまうかな。

最近は、マスクがつけられない事情があることを示す「意思表示バッジ・カード」を希望者に配付するといった支援者等の動きもあるけど、周囲がマスクを着けられない事情を理解する姿勢が大切だよ。



「マスク」に限らず、この社会で『当たり前』と考えられていることが、誰にとっても本当にそうなのか、様々な事柄を見つめ直していく必要があるね。

似たようなことは他にもあるよ。



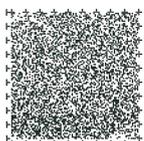
### 例) 他者と一定の距離をとる (ソーシャルディスタンス)

- ・ 人との距離を「見る」ことでしかとれない環境の場合（音声情報が保障されていない場合）、視覚に障がいのある人にとって目視で人との距離を保つことは難しいことも。
- … 間隔を空ける為の床の印や飛沫を防ぐビニールシート等、急に今までと違う仕組みが「当たり前」になると…。



「当たり前」を盾に、安易に一部の人を追い詰め、様々な機会から遠ざけていることはないでしょうか。

現在国では、感染防止対策を日常生活に定着させる「新しい生活様式」を推奨しています。同時に、一人ひとりの状況や状態を理解し、その都度、柔軟に変化し対応が図られる社会の実現、その為の「一人ひとりを大切に生活様式」も、様々なレベル・関係性から考え、実践・共有していくことが大切です。





# 人権ライブラリー 本・DVDのご紹介 ふらっと交流スペース 展示のご案内



今回は“ふらっと”の所蔵本・DVDの中から『性的マイノリティの人権』をテーマにした作品の一部をご紹介します。また、12月と1月の展示のご案内をします。

DVD

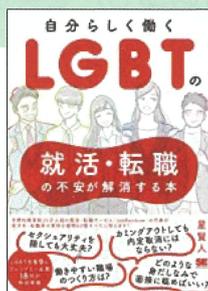


『カラコエの花』〈2016年作品〉上映時間39分（本編）、特典映像あり

とある高校2年生のクラスで、ある日突然「LGBTについて」の授業が行われた。しかし、他のクラスではその授業が行われておらず、生徒たちは疑問を抱く。「うちのクラスにLGBTの人がいるのでは？」

思春期ならでは心の葛藤が起こした行動とは…？

単行本



『自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本』

著：星 賢人／翔泳社

セクシュアリティの悩みが原因で、自分らしく働くことをあきらめたくない。本書は、そんな思いを持つ方のための1冊です。性的マイノリティの就活生や転職者から実際に寄せられたリアルな不安に対する向き合い方と解決策を丁寧に解説します。人事担当者や採用担当者等にとっても必読です。

コミック



『うちの息子はたぶんゲイ』作：おくら／スクウェア・エニックス（1～3巻）

親バカなのかもしれないけれど、うちの息子は2人ともすごくいい子！ただちょっと気になることがある。浩希が好きな人は男の人なのかも。本人は隠そうとしているけどバレバレな時もある。とにかく、うちの息子はたぶんゲイで、素直でとってもかわいいのだ。

お母さんと息子、愛情たっぷりの物語です。

## 展 示

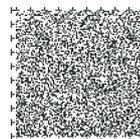
- 【12月】白兔養護学校小・中学部 児童・生徒作品展（鳥取県立白兔養護学校）  
拉致問題啓発パネル展（鳥取県総務部人権局）
- 【1月】人権クイズ（広島市市民局人権啓発部人権啓発課）



貸出数 ・ 貸出期間	本		DVD	
	個人	10冊	2週間	2本
団体	50冊	4週間		

鳥取県立  
人権ひろば21  
ふらっと

■開館時間 9時～17時（年末年始・祝日は休館）  
■電話 0857-27-2010  
■ファクシミリ 0857-21-1714  
■電子メール furatto@tottori-jinken.org



# おしらせ

## 人権に関する相談

センターでは、人権に関する問題を一緒に考える相談窓口を設置しています。

■人権相談日 毎週水・土・日曜日（年末年始・祝日を除く）  
9時～17時（当日相談の受付は16時まで）

■相談専用電話 0857-21-1713

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**面接による人権相談は30分以内**とさせていただきます。できるだけ、電話、ファクシミリ、メールでご連絡、ご相談ください。

令和3年  
3月31日  
まで

## 本・DVDの無料宅配サービスをご利用ください

ふらっとでは、本やDVDの無料宅配サービス（貸出も返却も）を実施しています。

### ■予約、貸出

電話、ファクシミリ、メールのいずれかで予約してください。返却用の送り状と共に宅配便でお届けします。

\*ふらっとHPから本やDVDの検索ができます。

### ■返却

同封の送り状（ゆうパック）に必要事項を記入し、郵便局またはローソンから返却してください。

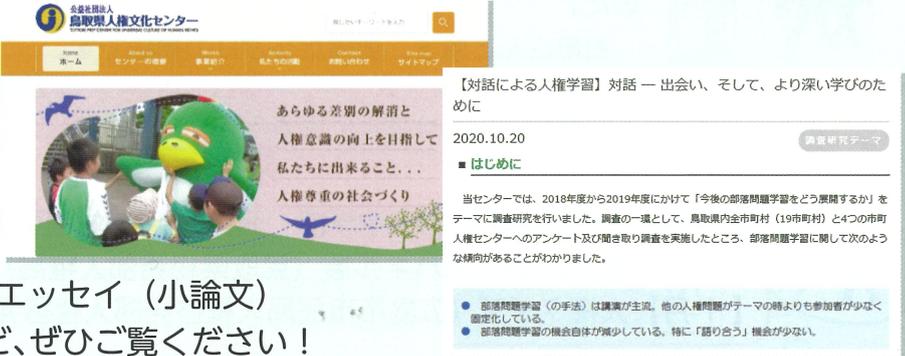
## センターの情報はここでチェック！ホームページのご案内

### ■人権研修のお役立ち情報

- 講師派遣のご案内
- 当センター作成の各種啓発資料

### ■読み物もあります

- メルマガバックナンバー
  - 調査研究の進捗状況がわかるエッセイ（小論文）
- その他、事業紹介や最新情報など、ぜひご覧ください！



公益社団法人鳥取県人権文化センター

【対話による人権学習】対話一 出会い、そして、より深い学びのために

2020.10.20

■はじめに

当センターでは、2018年度から2019年度にかけて「今後の部落問題学習をどう展開するか」をテーマに調査研究を行いました。調査の一環として、鳥取県内全市町村（19市町村）と4つの市町人権センターへのアンケート及び聞き取り調査を実施したところ、部落問題学習に関して次のような傾向があることがわかりました。

- 部落問題学習（の手法）は講演が主流。他の人権問題がテーマの時よりも参加者が少なく固定化している。
- 部落問題学習の機会自体が減少している。特に「語り合う」機会が少ない。

## 公益社団法人鳥取県人権文化センター

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地 鳥取県立人権ひろば21ふらっと内  
【TEL】0857-21-1712 【人権相談専用TEL】0857-21-1713  
【FAX】0857-21-1714 【E-mail】t-jinken@tottori-jinken.org  
【H P】https://tottori-jinken.org

